

平成27年度 「大阪市統一テスト」における 大阪市立新東淀中学校の結果の分析について

大阪市による「大阪市統一テスト」について、平成27年10月15日（木）に、第3学年を対象として実施しました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校がテスト結果やテスト結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、テスト結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

1 テストの目的

- ① テスト結果を個々の生徒の評定（内申点）に活用し、平成28年度入学者大阪府公立高等学校入学者選抜における調査書に記載する評定の公平性、信頼性を確保する。
- ② 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。

2 テストの対象

- ・ 原則として、大阪市立中学校及び特別支援学校中学部の第3学年

3 テストの内容

- ・ 国語、社会、数学、理科及び英語の5教科

平成27年度「大阪市統一テスト」検証シート

学校名	大阪市立新東淀中学校
-----	------------

生徒数(人)	202
--------	-----

平均正答率（点）

	国語	社会	数学	理科	英語
学校	65.0	57.3	60.3	56.4	56.5
大阪市	64.7	57.4	59.3	55.6	59.8

結果の概要

国語・社会・数学・理科の4教科については、平均正答率が大阪市と比べてポイントが－0.1～＋1.0の範囲で大きな差はなく、カテゴリー別に比較すると分類や区分によっては正答率が2.4～3.6ポイント高い分野もあった。解答形式では、大阪市と比べて記述形式での差が、－1.3～－7.1ポイントで大きかった。英語については、カテゴリー別に比較して全ての分野・区分においてそれぞれ僅かながら大阪市の平均正答率に達しておらず、合わせて3.3ポイント下回る結果となった。また、得点分布では、90%以上100%未満の分布生徒数が少なく、20%以上30%未満の分布生徒数が多い結果であった。

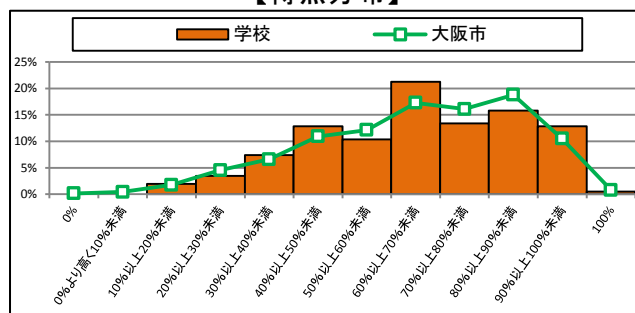
成果と今後取り組むべき課題

いずれの教科においても、適切な語句を選択する問題での正答率が高い傾向であるが、一方、記述による正答率は著しく低い傾向である。今後、一層の言語活動を充実させた授業展開を進め、表現力を養うための練習時間を十分に取り、論理的な思考力を向上させて定着させるための課題を細やかに設定して取り組む活動を増やしていく必要がある。特に、自分の考えをまとめて書くことの作業については苦手とする生徒が多く、各教科の授業で定期的に取り組み、生徒の意識向上を図っていく取り組みを推進していくことが重要である。

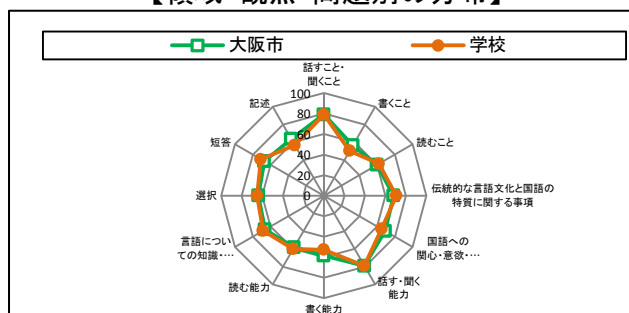
【各教科の得点分布と領域・観点・問題形式別平均得点の分布】

【国語】

【得点分布】

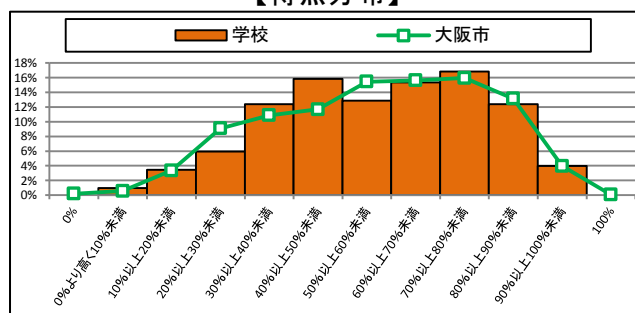


【領域・観点・問題別の分布】

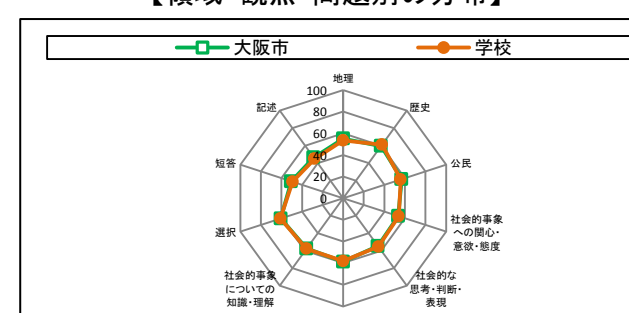


【社会】

【得点分布】

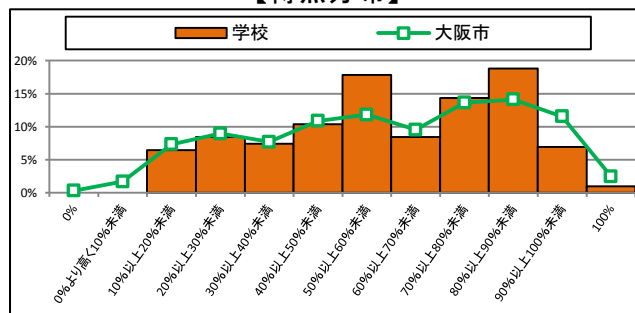


【領域・観点・問題別の分布】

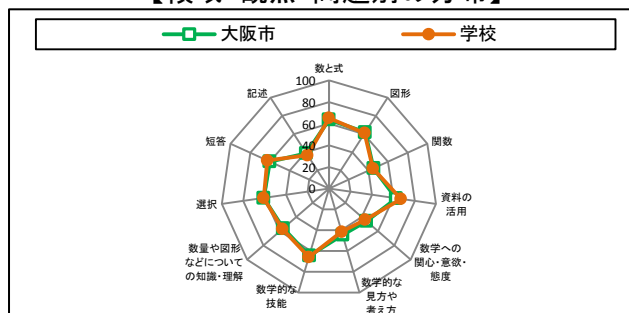


【数学】

【得点分布】

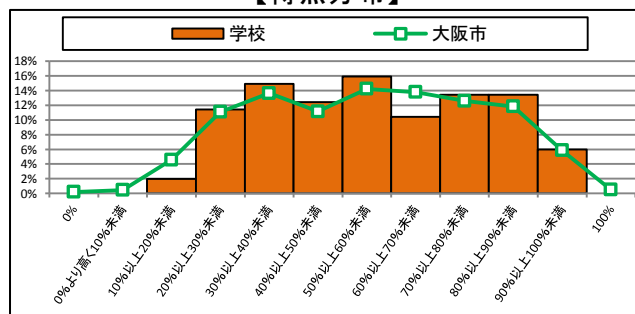


【領域・観点・問題別の分布】

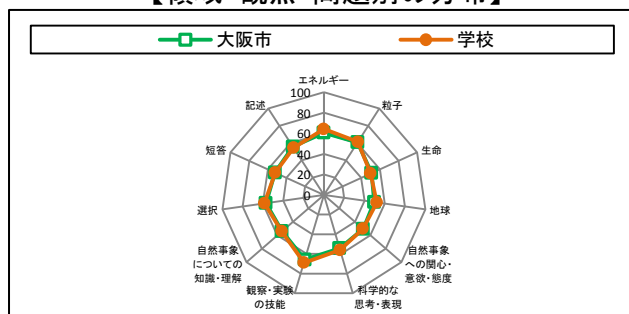


【理科】

【得点分布】

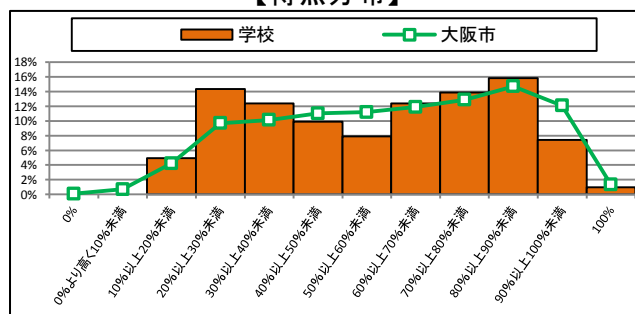


【領域・観点・問題別の分布】



【英語】

【得点分布】



【領域・観点・問題別の分布】

